令和３年２月１０日

**回　　覧**

町民のみなさま

洞爺湖町教育委員会管理課

**(仮称)新あぶた保育所建設（本町保育所と入江保育所の統合移築）に係る**

**移転先の見直しについて（お知らせ）**

洞爺湖町教育委員会では、本町保育所と入江保育所の統合移築について、移転先を虻田小学校とし、余剰教室の活用により（仮称）新あぶた保育所を運営することで令和元年度に方向性を決定し、取り組みを進めていましたが、移転先を虻田小学校として進めることが困難な状況となり、新たな統合移築先を選定し進めることとしましたので、次のとおりお知らせします。

なお、本件につきましては、住民説明会を開催して説明する予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらず、北海道全域で集中対策期間として取り組みを進めている最中で説明会を開催することができないことから、この書面をもってお知らせをさせていただきますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

**１　計画（移転先）の見直しに至った経緯**

国において昨年９月以降、「ポストコロナ期における新たな学びの在り方」として小中学校の少人数学級実現に向けた動きが活発化し、既に決定している本町保育所と入江保育所の統合移築計画のとおり虻田小学校を統合移築先として進めた場合、少人数学級が本格的に導入されたときに活用すべき空き教室がない状態となり、校舎の増築により教室を確保する必要に迫られるなど、新たな課題が出てくる事態となりました。

このようななかで、少人数学級の実現に向けた方向へ進む状況が見えてきたことから、教育委員会としましては、虻田小学校の学校本来の機能の維持向上を優先すべきであり、少人数学級の実現に向けた取り組みを進めるためには、空き教室を確保することが必要な状況との判断に至ったところです。

**２　新たな建設予定地とその理由**

　　教育委員会としましては統合移築先に決定している虻田小学校を見直すにあたり、「ポストコロナ期における学びの在り方を踏まえた新あぶた保育所建設の基本方針」を策定して検討を進め、「健康福祉センター」と「地域交流センター」と「あぶた読書の家」に囲まれた町有地である「みんなの森公園付近」を新たな統合移築先の候補地として選定しました。

　　候補地として選定した理由ですが、保育園舎、園庭、駐車場など、一定の面積が確保できる可能性が高いこと。また、同地は比較的静かな場所で日当たりも良く、更には、みんなの森公園に隣接していることから緑も多く、保育環境として良好であることによるものです。

**３　開設までのスケジュール**

　　今後の進め方の予定（見込）ですが、現時点で次のとおり考えています。

|  |  |
| --- | --- |
| 年　　度 | 内　　容 |
| 令和３年度 | 基本計画策定、測量調査 |
| 令和４年度 | （仮称）新あぶた保育所建設基本設計業務 |
| 令和５年度 | （仮称）新あぶた保育所建設実施設計業務 |
| 令和６年度～令和７年度 | （仮称）新あぶた保育所建設工事 |
| 令和８年度 | （仮称）新あぶた保育所　利用開始 |

**４　その他**

　・令和３年度に基本計画を策定する予定ですが、これができましたら住民説明会を開催

　　していきたいと考えています。

　・ご不明な点がございましたら、管理課保育・庶務グループまでご連絡ください。

　　（保育・庶務グループ）

TEL　７４－３００９